

設立時期・目的

- 平成15年(2003年)2月 埼玉県川口市にて開所。
- NHKが制作・放送した番組やニュース編集素材等を「保存」とともに次世代へ継承する。
- 放送での利活用や外部への提供等の「活用」。
- 映像・音声を「公開」することで、放送事業の成果を社会に還元する。

保存番組・関連素材数

- 令和5年度末(2024年3月末)現在、約116万本
※約30,000本／年のペースで収集・保存。

保存する番組の対象

- 昭和56年～平成15年
組織的に、再放送や二次利用等の活用が予定される番組を年間2万本程度でテープ保存
- 平成15年～平成25年8月
NHKアーカイブス開所後も同所において同じペースでテープ保存
- 平成25年8月～
ファイルベースによる番組の保存と提供を開始
- 令和3年9月
保存テープ(本部)について、ファイル化終了

保存番組等の公開の本数

- ポータルサイト(NHKアーカイブス)にて約31,000本公開(令和7年2月末現在)
- NHKアーカイブス(埼玉県川口市)にて約11,500本を無償にて視聴。



NHK ARCHIVES
アーカイブス
(埼玉県・川口市)

活用・公開事例

- 「時をかけるテレビ」や「あの人に会いたい」等のアーカイブ番組の放送
- 「アーカイブスポータルサイト」にて約31,000本の動画公開と「ジャパンサーチ」や「ひなぎく」と一部メタデータ連携
- NHKアーカイブス(埼玉県川口市)にて、一部番組の無償視聴

- NHKは2025年3月、ラジオ100年(約500頁)、テレビ70年(約1000頁)を番組の変遷に着目してまとめた『**放送100年**』の記念冊子を発行。
- また、**アーカイブスポータルサイト** (<https://www.nhk.or.jp/archives/history/>) 内でも**サイト版『NHK放送100年史』を公開**しており、「ドラマ」「音楽」「バラエティー」「ニュース」など13のジャンル、ラジオ・テレビあわせて約9000番組の情報を、年表や定時番組リスト、ヒストリー解説などで紹介している。**約4000本のダイジェスト動画がサイトでも視聴可能**(冊子とはQRコードで連動。)

『放送100年史』記念冊子



『放送100年史』サイトトップ



ジャンルごとの定時番組リスト



4000本のダイジェスト動画



【重点アクション】

- 放送事業者としての使命を維持しつつ、協会の保存規程に則した持続可能な「デジタル」保存。
- 放送等の再利用を主として整備しているデータベースについて、協会規程に則した外部連携の検討
- 放送波以外で発信をしていく発信手段の課題整理。
- 「放送アーカイブ」に資する人材育成

放送アーカイブ

番組アーカイブ

→ 放送されたコンテンツ

素材アーカイブ

→ 放送に使われた
編集素材等

再利用する際の注意点

- ・著作権（実演家や各団体等への支払いも含む）
- ・著作権以外の各法令への対応
- ・時代背景と放送機材の進化
- ・映像のリテラシー
- ・放送事業者として役割

意義と期待される効果

- ・放送資産の次世代への継承
- ・放送事業者としての成果を社会に還元できる
- ・生成AI画像等の「フェイク」対策

課題

- ・事業費全体と公開経費との割合
- ・放送波以外での公衆公開のあり方
- ・永久に公開される際の「リスク」 ← 社会背景の変化等
- ・映像のリテラシー向上

【達成目標】

放送事業者としての役割や意義を考慮しつつ、10月に施行される「放送法」の趣旨や協会内の規程に沿って公開数や目標を再設定。